

# J A C S

## NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第14巻第2号

発行日● 2006年8月24日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

### 第32回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

#### <統一論題> 消費者行動研究における店舗の役割:その科学的解明をめざして

去る2006年6月17日・18日の両日、函館市の函館大学において、第32回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。今回のコンファレンスは、自由論題・統一論題という2部からなる構成で、多数の研究報告が行われました。自由論題研究報告では、以下の研究報告が行われました。

1. モノブランドによるサービスへの拡張の成功要件  
古川 豪太 (法政大学大学院/株式会社ヤナセ)  
田中 洋 (法政大学)
2. 広告音楽によるブランド・コミュニケーション効果  
林 雄一郎 (東芝テック株式会社)  
竹内 淑恵 (法政大学)
3. エリアブランド構築のためのアクター育成・誘引の戦略分類  
長尾 雅信 (慶應義塾大学大学院)
4. ネット・コミュニティの新しいビジネスモデル  
— アバターサイトにおける仮想経験のデザインと仮想市場の成立  
水越 康介 (首都大学東京)
5. インターネット上における消費者の情報探索プロセス・モデル  
澁谷 覚 (新潟大学)
6. 回答時間を加味したブランド評価「Webレスポンスレイテンシー法」の開発と利用  
山川 義介 (株式会社インタースコープ)  
芳賀 麻誉美 (女子栄養大学)
7. 企業に寄せられた顧客の声とRFM指標の関係について  
中野 香織 (早稲田大学大学院)  
大瀬良 伸 (早稲田大学大学院)  
松本 大吾 (早稲田大学大学院)
8. IS2(Issue Survey System)プロポーザル ～定性調査支援システムの開発～  
小野田 哲弥 (慶應義塾大学 21世紀 COE「次世代メディア・知的社会基盤」)  
伊藤 貴一 (慶應義塾大学 21世紀 COE「次世代メディア・知的社会基盤」)  
岡本 潤 (慶應義塾大学 21世紀 COE「次世代メディア・知的社会基盤」)  
木幡 敬史 (慶應義塾大学 21世紀 COE「次世代メディア・知的社会基盤」)  
渡邊 紀文 (慶應義塾大学 21世紀 COE「次世代メディア・知的社会基盤」)

## 9. 小売店舗における顧客の基本行動量の関連性分析について

吉田 琢史 (株式会社東芝)

## 10. 消費者言語に基づく多段階選択プロセスの分析—グルーピング評価グリッド法の選択モデリング

芳賀 麻誉美 (女子栄養大学)

水野 誠 (筑波大学)

統一論題研究報告では、「消費者行動研究における店舗の役割:その科学的解明をめざして」というテーマの下で、慶應義塾大学の高橋 郁夫教授をコーディネーターに6つの研究が報告され、活発な意見交換が行われました。

## 1. 店舗内環境が購買意思決定過程に及ぼす影響

竹村 和久 (早稲田大学)

## 2. ドラッグストアにおける消費者の店内購買行動

加藤 弘之 (流通経済研究所)

## 3. ホームセンターにおける消費者行動

清水 聰 (明治学院大学)

## 4. 買物意思決定と感情体験

石淵 順也 (関西学院大学)

## 5. 食料品の購買行動における小売業態に対する消費者意識

峰尾 美也子 (東洋大学)

## 6. 小売店舗顧客の来店購買規定要因について

里村 卓也 (慶應義塾大学)

渡邊 克芳 (ライオン株式会社)

荒井 誠一 (カスタマー・コミュニケーションズ株式会社)

戸田 栄治 (カスタマー・コミュニケーションズ株式会社)

この他に、第2日目にはミシシッピ大学教授で、Journal of Retailing元編集長のCharles A. Ingene教授による“The Role of Consumer Shopping Behavior in Determining Winners and Losers in the Competitive Battle between Retail Stores”というテーマの特別講演が開催されました。

## 第33回消費者行動研究コンファレンスのお知らせ！

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内致します。今春より、コンファレンスの運営がコンファレンス担当理事の主導となりまして、その第2弾として、今秋は「自由論題」をベースにしたコンファレンスを予定しています。詳細は、次項をご参照下さい。

第1日目には自由論題、JACS-SPSS論文プロポーザル、統一論題、パネルディスカッション、会員総会、懇親会、第2日目には自由論題を予定しています。詳細については、次号のニューズレターで再度お知らせ致します。

**●開催日程決まる！●****11月18日(土)・19日(日)****慶應義塾大学**

(東京都港区)

## 第 33 回消費者行動研究コンファレンス 自由論題研究報告募集

11月18日(土)・19日(日)に開催されます第33回消費者行動研究コンファレンスでの自由論題の発表者を募集します。発表は両日に設定される予定ですが、時間等は未定です。発表順などは事務局で調整させていただきます。発表者のうち1名が学会員であれば共同発表でも構いません。発表を希望される方は、「**8月25日(金)～9月25日(月)**」の間に、以下の要領で事務局までお申し出下さい。なお論題が本学会にそぐわない場合には、発表をお断りすることがありますのでご了承下さい。

### 【自由論題研究報告応募にあたって】

今秋のコンファレンスでは、自由論題をベースにした開催を予定しています。従来とは若干異なる「セッション制度」を導入しました。日本消費者行動研究学会も順調に会員数を増やし、大学院生の発表も盛んになってきています。特に本学会においては、社会人経験を有する大学院生も多いだけに、大学院生の研究をより促すために、学会発表をこれまで以上に動機づけるような発表形式を採用することが、学会の活性化にもつながると考えました。また、本学会の意義の一つは、消費者行動に関わる複数の学問領域の接点としての役割であり、多数の発表があることが消費者行動研究に関する多様な研究を促すことにもつながります。そこで、15分程度の時間で、研究アイデアのアイデアや、ケース・スタディなどを発表して頂く新しい発表カテゴリーを設け、多数かつ多様な研究発表を促していきたいと考えました。それが、新たに導入しました「セッション制度」です。

「セッション制度」では、セッションは大きく2つに分かれます。一つは「ショート・セッション」(15分程度の発表と質疑応答)で、他の一つは「ロング・セッション」(30分程度の発表と質疑応答)です。前者は、さらに「インキュベーション・セッション(研究アイデアの発表)」、「ケーススタディ・セッション(事例研究や企業での実践例などの発表)」、「通常の研究発表(従来形式の自由論題の短縮版)」の3つに分かれます。後者のロング・セッションは、従来からの自由論題形式です。一覧に示すと以下のようになります。

	発表セッション名	セッション概要
1. ショート・セッション (15分程度の発表と質疑応答)	インキュベーション・セッション	研究アイデアを発表 研究アイデアの良いポイントを褒める！可能性を考える！ 共同研究などでも構いません
	ケーススタディ・セッション	少数事例、研究計画にほころびがあるようなものでも発表 企業などでの実践例などの報告も可能！
	通常セッション	従来形式の自由論題の短縮版
2. ロング・セッション (30分程度の発表と質疑応答)	ロング・セッション	従来形式の自由論題を踏襲

**【応募要領】**

以下を明記の上、e-mailにて応募ください。確認後、事務局より折り返し確認のe-mailをお送りします。応募後、数日経過しても連絡がない場合は、事務局までお電話にてご確認ください。

※e-mailのタイトル:「自由論題の報告希望」

- ① 発表希望セッション名(上記4つのいずれかを明記してください)
- ② 発表タイトル
- ③ 発表者氏名
- ④ 発表者の所属機関
- ⑤ 発表者の連絡先(住所・電話番号・Eメールアドレス)
- ⑥ 発表要旨(400字以内)

**【対象】** ・学会会員または学会学生会員  
・共同報告の場合、報告者の1名が学会会員であれば可

**【宛先】** 日本消費者行動研究学会 事務局 宛て  
E-mail: jacs@jacs.gr.jp

**【応募期間】** 2006年8月25日(金)～9月25日(月)

## JACS-SPSS 論文プロポーザル賞 2006 年度応募者

本年度も JACS-SPSS 論文プロポーザル賞への応募が多数ありました。審査委員の先生方による審査の結果、下記の研究がさらなる審査対象として認められました。秋のコンファレンス初日に、最終研究結果の報告があります。会員の皆様が注目する今年度の受賞はといったどの研究になるでしょうか？秋のコンファレンスがとても楽しみです！

1. 医療分野の消費者行動～心療内科受療希望者の医療機関選択における情報探索～  
横井 美佳(名古屋市立大学大学院経済学研究科)
2. 観点が消費者の製品評価ルールに与える影響に関する実証研究  
日高 優一郎(神戸大学大学院経営学研究科)
3. 定量データから発見された意外性の、定性データによる解釈支援  
伊藤 貴一(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)
4. 消費者が知覚するスイッチングバリアの研究  
八島 明朗(横浜国立大学大学院国際社会科学研究所)
5. 購買行動における景品効果の検証  
吉田 祐介(京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科)
6. 「代理消費者」起用と消費者への影響力  
北村 真琴(一橋大学イノベーション研究センター)

## 2005 年度決算報告および 2006 年度予算案

2006 年 6 月 17 日に開催されました役員会での審議を経て、同日開催された会員総会において、2005 年度の決算報告および 2006 年度の予算案が下記の通り承認・決定されました。ここにご報告します。

2005 年度 決算報告		2006 年度 予算案	
<b>〔収入の部〕</b>		<b>〔収入の部〕</b>	
1. 会費収入(2005 年度分)	<b>3,190,000 円</b>	1. 会費収入(2006 年度分) *	<b>3,186,000 円</b>
学術会員	1,140,000 円	学術会員	1,560,000 円
学術学生会員	114,000 円	学術学生会員	156,000 円
個人賛助会員	190,000 円	個人賛助会員	270,000 円
法人賛助会員	1,100,000 円	法人賛助会員	1,200,000 円
滞納分	646,000 円	滞納分	0 円
2. 論文集販売	<b>418,000 円</b>	2. 論文販売	<b>0 円</b>
3. 前年度繰越金	<b>8,246,605 円</b>	3. 前年度繰越金	<b>10,185,726 円</b>
合計	<b>11,854,605 円</b>	合計	<b>13,371,726 円</b>
<b>〔支出の部〕</b>		<b>〔支出の部〕</b>	
1. 印刷費	<b>27,180 円</b>	1. 印刷費	<b>300,000 円</b>
ニュースレター印刷	27,180 円	ニュースレター印刷	50,000 円
会員名簿印刷	0 円	会員名簿印刷	250,000 円
2. 事務費	<b>1,641,699 円</b>	2. 事務費	<b>4,800,000 円</b>
論文集作成・発送一式	777,500 円	論文集作成・発送一式	3,000,000 円
通信費	309,918 円	通信費	400,000 円
コンファレンス開催校補助費	50,000 円	コンファレンス開催校補助費	100,000 円
ホームページ英訳・リニューアル費	0 円	ワークショップ開催補助費	600,000 円
Web ホスティングサービス利用費	201,600 円	Web ホスティングサービス利用費	150,000 円
その他経費	302,681 円	ホームページ英訳・リニューアル費	150,000 円
その他経費	302,681 円	その他経費	400,000 円
3. 次年度繰越金(論文集作成費 他)	<b>10,185,726 円</b>	3. 次年度繰越金(論文集作成費 他)	<b>8,271,726 円</b>
合計	<b>11,854,605 円</b>	合計	<b>13,371,726 円</b>

\* 2006 年 3 月 31 日現在の種別会員数に基づいて算出。

上記の通り報告致します。

事務局担当理事    新倉貴士 印

上記の報告を適正なものと認めます。

監 事                    桑原武夫 印

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

「銀行振り込み」の際に、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振り込み」の際には、必ず「個人名」から記入するよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更する際は、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。お電話、FAX、Eメールのいずれかでご連絡下さい。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、下記の該当項目に☑をし、FAX もしくは郵便にて事務局宛に送付いただくか、ご希望の項目を明記の上、e-mail にてご連絡ください。折り返し、入会申込書等をお送りいたします。

**●入会資格****[学術会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教暦を有する者、等）。但し、学術会員 2 名の推薦が必要。

**[賛助会員]**

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●年会費**

**[学術会員]** 5,000 円  
(但し大学院生は 2,000 円に減免)

**[賛助会員]** 個人会員 1 口 5,000 円  
法人会員 1 口 50,000 円

会員案内(入会申込書)の送付を希望します。( 学術会員 賛助会員 )  
次回コンファレンスの参加を希望します。

お名前:	ご所属機関:
住所: 〒	
TEL:	FAX:
e-mail:	

**●JACS 事務局のご案内●**

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155  
関西学院大学商学部 マーケティング研究室 (新倉貴士)  
TEL: 0798-54-6444 FAX: 0798-51-0903 Email: tniikura@kwansei.ac.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)  
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>